

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2021年 6月 2日

愛知県知事殿

提出者

住 所 愛知県碧南市浜町1番地

氏 名 日鉄ステンレス株式会社

製造本部 衣浦製造所

執行役員所長 内田 俊彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0565-48-7211

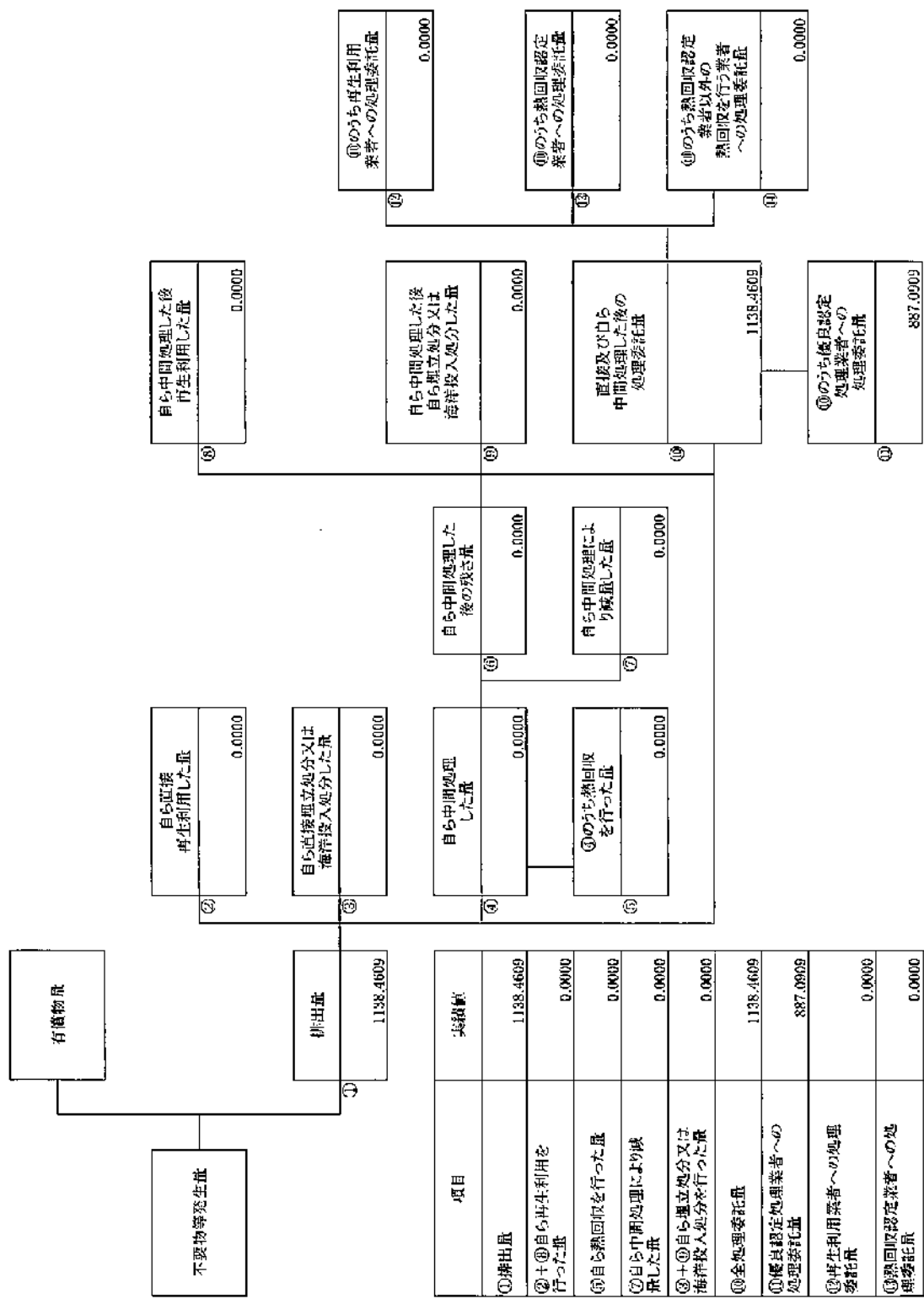
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、2019年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日鉄ステンレス株式会社 製造本部 衣浦製造所		
事業場の所在地	愛知県碧南市浜町1番地		
事業の種類	22:鉄鋼業		
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	2020年4月1日 ～ 2021年3月31日		
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	6,260 t	全 処 理 委 託 量	6,260 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	400 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	0t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
電子情報処理組織の使用に関する事項			
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	7,141t	
	前年度	7,603t	
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)			
現在100%電子マニフェスト化している。 2019年4月より、廃棄物総合管理システムを100%運用・実施し、 システムによる一元管理、コンプライアンスを強化している。			
※事務処理欄			

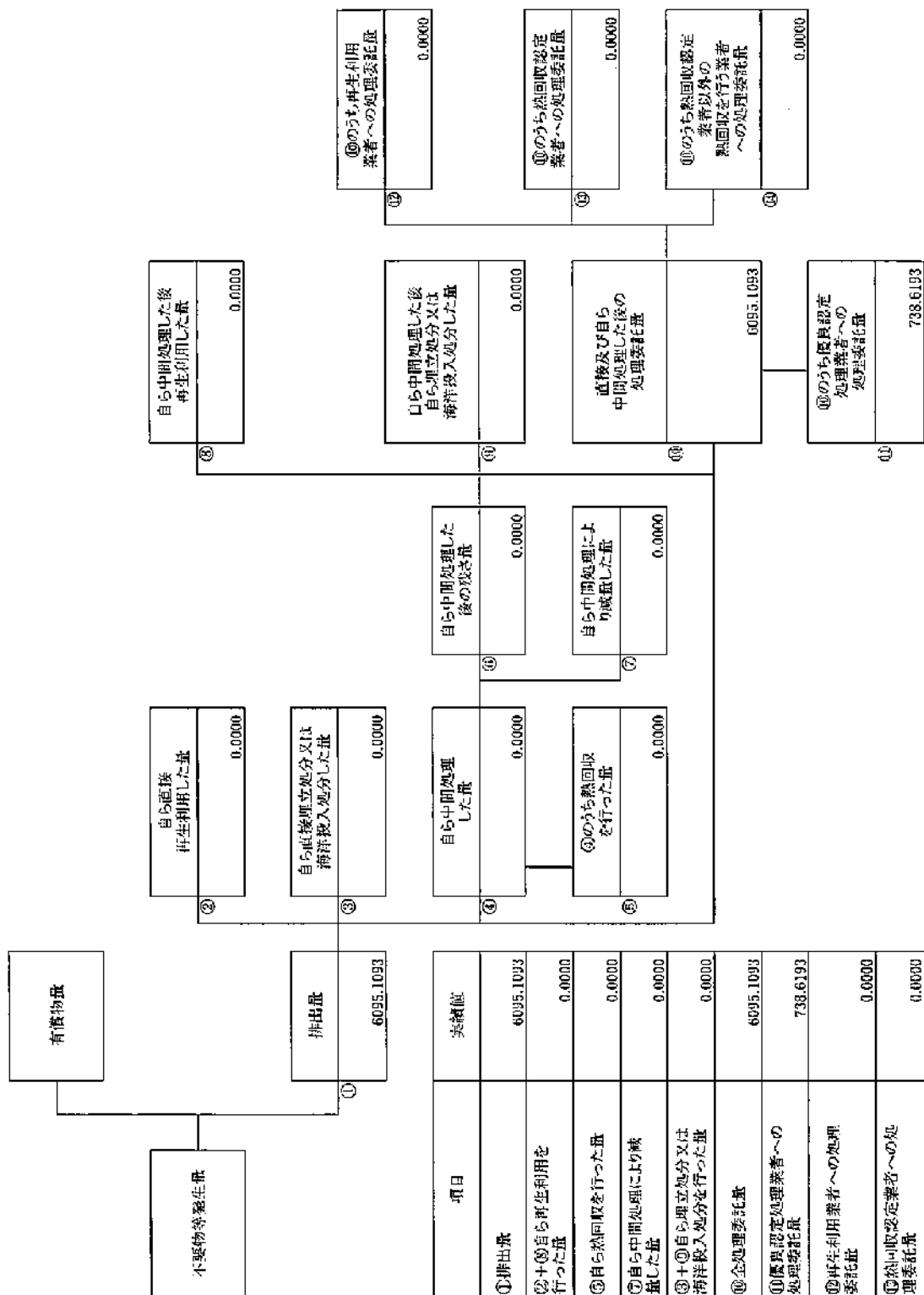
(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの))



(特別管理産業廃棄物の種類:汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの))



項目	実績値
①排出量	6095.1093
②+③自前年利用を行なった量	0.0000
④自前年回収を行った量	0.0000
⑤自前年中間処理により減量した量	0.0000
⑥+⑦自前年埋立処分又は埋立処分入処分を行った量	0.0000
⑧全処理委託量	6095.1093
⑨既設認定処理業者への処理委託量	739.6193
⑩新生利用業者への処理委託量	0.0000
⑪回収認定業者への処理委託量	0.0000
⑫回収認定業者以外の回収廃棄を行う業者への処理委託量	0.0000

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:鉱さい(基準値を超える有害物質を含むもの))

有償物量		不要物等発生量	
排出量		①	
344.2400		344.2400	
項目	実績値		
①排出量	344.2400		
②+③自ら再生利用を行った量	0.0000		
④自ら熱回収を行った量	0.0000		
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000		
②+④+⑦自ら粗立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000		
⑩全処理委託量	344.2400		
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0.0000		
⑨再生利用業者への処理委託量	0.0000		
⑧熱回収認定業者への処理委託量	0.0000		
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000		

②	自ら直接再生利用した量	0.0000	⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	0.0000
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.0000	⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0.0000
④	自ら中間処理した量	0.0000	⑩	直拉及び自ら中間処理した後の処理委託量	344.2400
⑤	④のうち熱回収を行った量	0.0000	⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0.0000
⑥	自ら中間処理した後の残量	0.0000	⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.0000
⑦	自ら中間処理により減量した量	0.0000	⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.0000
⑩	④のうち熱回収を行った量	0.0000	⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000

(特別管理産業廃棄物の種類:燃えやすい、廃油)

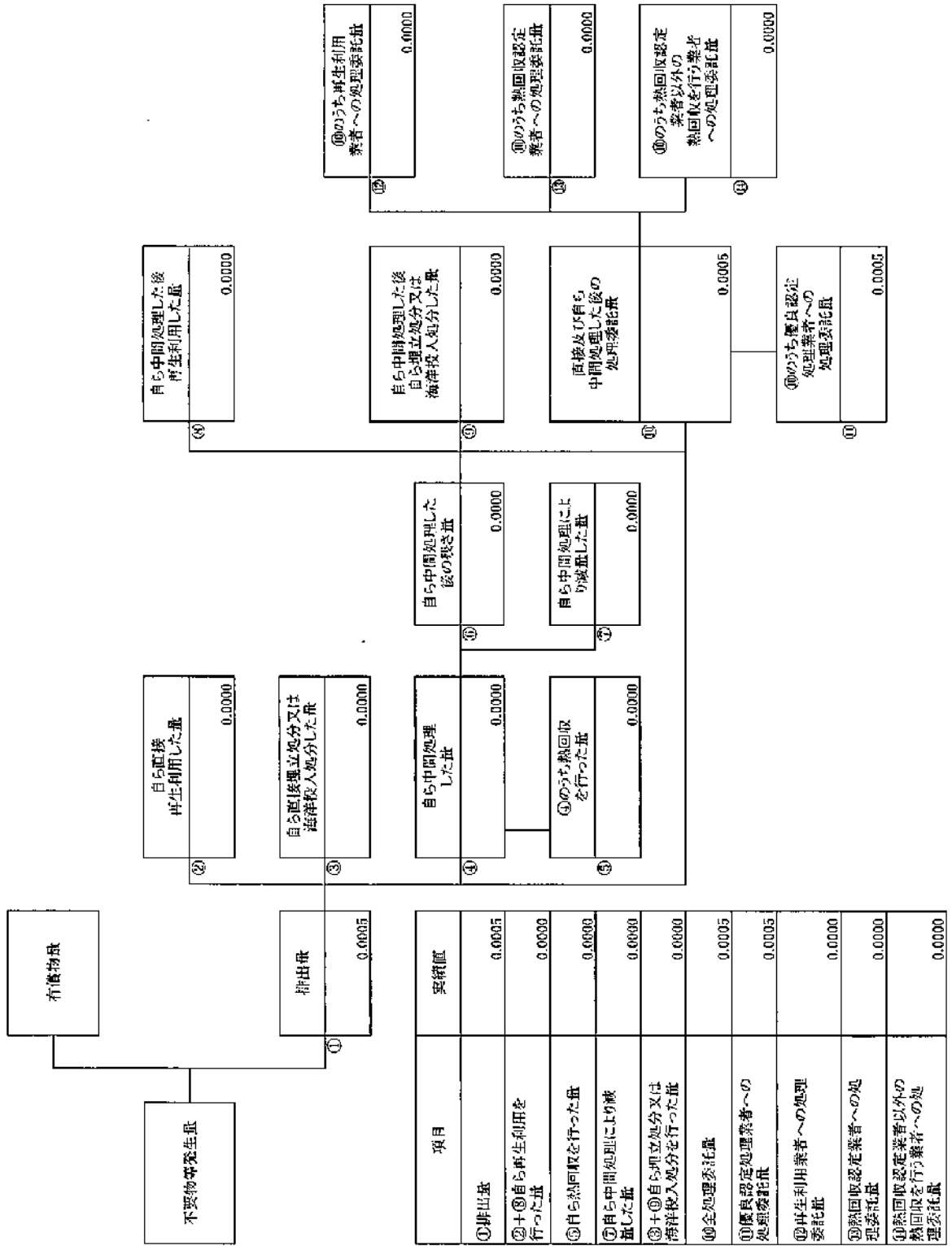
有価物量	不要物等発生量	排出量	0.0211
		①	

項目	実績値
①排出量	0.0211
②+③+④自ら再生利用を行った量	0.0000
⑤自ら燃回収を行った量	0.0000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000
③+④自ら燃立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000
⑥全処理委託量	0.0211
⑩廃品超定処理業者への処理委託量	0.0211
⑪再生利用業者への処理委託量	0.0000
⑧燃回収認定業者への処理委託量	0.0000
⑨燃回収認定業者以外の燃回収を行う業者への処理委託量	0.0000

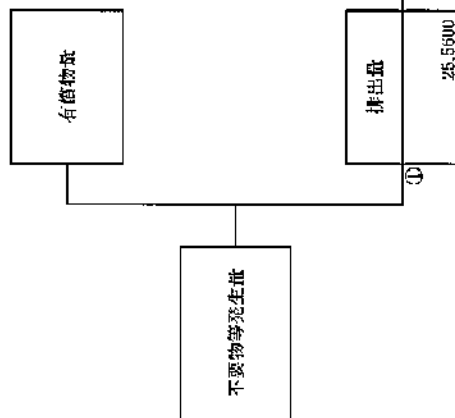
②	自ら直接 再生利用した量	0.0000
③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0.0000
④	自ら中間処理 した量	0.0000
⑤	④のうち熱回収 を行った量	0.0000
⑥	自ら中間処理した 後の残さ量	0.0000
⑦	自ら中間処理によ り減量した量	0.0000
⑧	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0.0000
⑨	⑧のうち再生利用 業者への処理委託量	0.0000
⑩	⑧のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	0.0000
⑪	直移及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	0.0211
⑫	⑪のうち廃自認定 処理業者への 処理委託量	0.0211

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:廃油(基準値を超える有害物質を含むもの))



(特別管理産業廃棄物の種類: pH2.0以下の廃酸)



項目	実績値
①排出量	25.5600
②+⑬自ら再生利用を行った量	0.0000
④自ら熱回収を行った量	0.0000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000
③+⑭自ら埋立処分又は施洋投入処分を行った量	0.0000
⑮全処理委託量	25.5600
①④⑥⑧⑨認定処理業者への処理委託量	0.0000
②⑩⑪⑫再生利用業者への処理委託量	0.0000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0000
①④⑥⑧⑨認定業者以外の熱回収業者への処理委託量	0.0000

③	自ら中間処理した後 再生利用した量 0.0000	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量 0.0000
④	自ら中間処理した後 自ら処分又は 海洋投棄処分した量 0.0000	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0.0000
⑤	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 25.5600	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 0.0000
⑥	⑩のうち廃止認定 処理業者への 処理委託量 0.0000	

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。